



Zikomo kwambiri!



ジ コ モ

ク ワ ン ビ リ

Life is like a box of chocolate.

Muli Bwanji(ムリブワンジ)? 日本では新年度が始まったばかりだと思えますが、早くもザンビアでは今年最初のタームが終わりました!時間が過ぎるのは本当にあっという間です。でもそう感じるということは、この3か月がとても充実していたと言えるかもしれません。今学期担当したクラスは聴覚障害の5年生。生徒数は6人と少なく、一人一人の学力の向上にフォーカスして授業を組み立てました。このクラスでの活動については少しずつまとめていきたいと思いますが、今思うことは、「人生何が起こるか分からない」ということ!まさか自分が手話で授業をしているなんて、手話に興味を持ってくれる人が増えるとうれしいなと思っているなんて、1年前の自分では想像できませんでした。障害児・者支援といっても様々な障害がありますし、赴任前の情報だけでは聴覚障害のクラスがあるとは知らなかったのでなおさらです。

協力隊の活動に参加していると、「振り返ればあの時のあれが今に繋がっていたんだ」と思うことが多々あります。これからも一つ一つの瞬間を大切にしていきたいですし、関わる子どもたちや先生には、「あの時出会った日本人がこんなこと言っていたな」と人生のふとした瞬間に私のことを思い出してもらえるように、活動に励んでいきたいです。

International Women's Day!



3月8日は国際女性デーということで、配属先の先生たちと一緒に祝いをしました!今回のドレスコードはお揃いチテンゲトップスに黒のトラウザーズ。ザンビアでは何かイベントがあると、ドレスコードを決めることが多いのです。チテンゲは布で配られるので、自分でテイラーさんをお願いして仕立ててもらいます。お揃いの布なのにデザインが違うのでとっても個性豊かです!

当日お互いに”Happy women's day! You look nice(素敵ね!)”と言い合ってハグする感じがなんともザンビアらしい!先生たちのモチベーションを高めたり、一丸となって子どもたちを見ていくためにもこうしたイベントは大切だなと思うのですが、それよりもこんなにも一緒に食べて話して踊って…日本人である私を受け入れてくれている配属先の先生たちのあたたかさをもっと感じた一日でした。



これもザンビア!?

The Life in Zambia!

12月から3月は雨期なはずなのですが、今年は雨が全然降らなかったのが3月から計画停電が始まっています。(ザンビアの電力の75%が水力発電なのです。この水力発電で近隣諸国への電力も供給しているのが本当にすごい!) 時間は定期的に変りますが、6:00-10:00と18:00-22:00などと生活時間帯であることもありました。とは言ってもここはザンビア。時間通りにはなりません。16時頃から24時過ぎまでずっと停電している日も続きましたが、(外の方が明るいので)外で夜風にあたりながら授業準備をしたり、キャンドルを焚いてぼーっとしたりと、これはこれで有意義な時間でした。何事も楽しんだもん勝ちですね!

“日本人”としてここにいること。



ザンビアの小学校では毎学期スポーツ大会があるようです。仕組みは校内予選→地区大会→県大会→全国大会といった感じで日本の部活動の大会みたいです。今学期は100メートル走やリレーなどの陸上競技が中心。(ちなみに次の学期はサッカーやバスケットボールなどの球技のようです)

地区大会に向けて選抜しないといけないからか、突然「明日からブレイクタイム後にスポーツやるよ!」と急に始まる所がザンビアらしい。それでも継続してやっている子どもたちも先生たちも慣れるもので、段取りがスムーズになったり、ちゃんとスポーツの格好をして参加しなさいと声かけをしたり、「スポーツパーソンはキビキビ動くのよ!」

と指導したりと現地の先生たちのパワーを感じました。

これを活かさない手はないと思い、スポーツ後のゴミ拾いを提案すると「いいアイデアだね」とすぐに協力して取り組んでくれました。実は学校の敷地は狭く、学校近くのグラウンドを使っていたのですが、ゴミがたくさん落ちていたことが気になっていたのです。「日本には道端にゴミが落ちていないんでしょ?」「日本人は本当に規律があるよね」といった日本に対しての良いイメージは崩したくないですし、「使った場所を綺麗にすることって大切だよ」と私の提案がきっかけで周りの環境に目を向けて行動に移してもらえることがとても嬉しかったです。日本人としてここにいる理由ってこういうことなのかなと思いました。

ちなみに、地区大会当日は別の学校のグラウンドで行ったのですが、そこでもゴミがたくさん落ちていました。大きいゴミ袋持ってくればよかった~と思っていたら、現地の先生から「エリカ、明日はゴミ袋持ってきてね、みんなで拾うから!」と。心の中でガッツポーズ!!二日間あったので、次の日はしっかりゴミ拾いをして帰りました。「日本は規律があるよね」というイメージが「チャイナマはいい学校だよ」に変わっていったら嬉しいです!

